

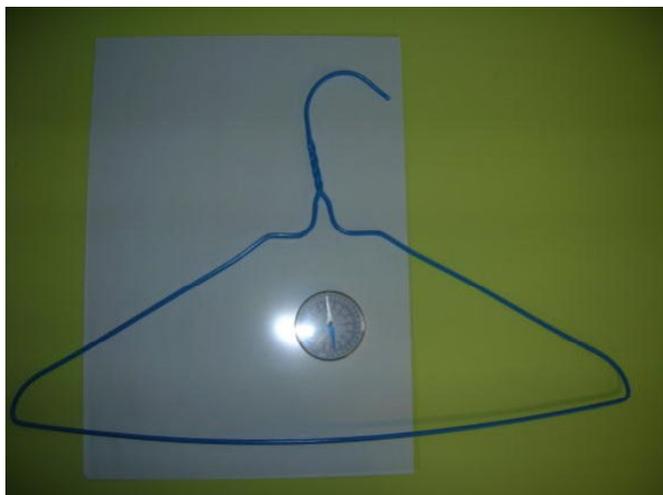
月観測器

1 ねらい

児童が一人で月を記録し、一定時間毎の月の移動を方位とシート上の長さでとらえることができます。OHPシートだけを取り外し、他の児童の記録と重ねて比べると、月の動きのきまりを見つけ出すことが容易になります。

2 準備するもの

- ・ 針金ハンガー 1個
- ・ OHPシート 1枚
- ・ セロテープ
- ・ 台になるもの

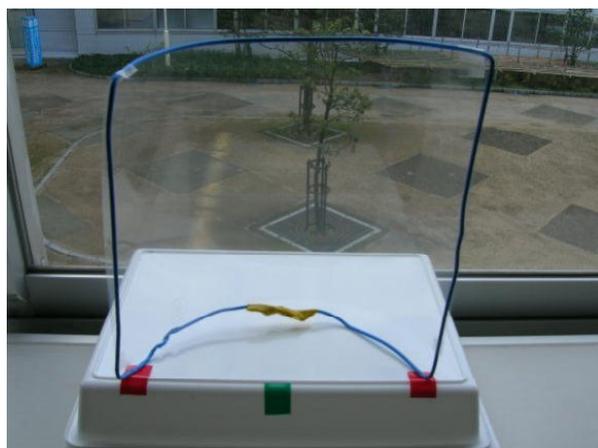


3 作り方

- (1) 針金ハンガーをいったん伸ばし、長方形の形（OHPシート297mm×210mm）にした後、半円形になるよう形を整え枠を作る。接合部分はテープで巻いて固定します。
- (2) 枠にOHPシートを取り付けます。
- (3) 南に面した窓際に設置し、中心部分のテープに鼻を付けて観測する。月が見えた位置をシート上に油性ペンで記録していきます。

4 実施上の留意点

- (1) 観測するときには、中心のテープに鼻を付けると視点を一定に保つことができます。
- (2) 中心から見える月の位置をシート上に記録します。
- (3) 観測の仕方については、クラスで指導をしておくといでしょう。
- (4) グループ毎の話し合いのときには、そのまま重ねて、資料として活用することもできます。
- (5) 話し合いの時には、OHPで拡大投影できます。シートを数枚重ねると、容易に動き方のきまりをとらえることができます。



緑色の部分に鼻を付け、視点を固定する

5 解説

この教材は、月観測シートでの観測の仕方を簡易化したものです。観測の仕方を事前に指導しておけば、家庭でも精度の高い観測ができます。また、学校で観察する際には、話し合いの時に掲示資料にできる大きなサイズのものでよいでしょう